

市民ワークショップ参加者6名の
プレゼン内容を紹介します

SDGsは学校の授業
で関心を持ちました。
将来、医療への従事
など海外で活動する
きっかけになればと
思い参加しました。



ワークショップ参加者
木村 未来さん

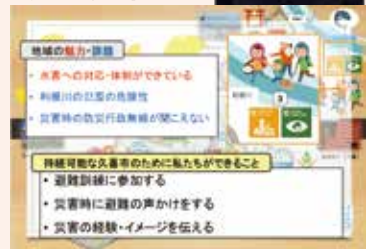
地震で怖い思いをし
たのをきっかけに、
周りの人にもハザード
マップなど災害の
情報を知ってほしい
と思い参加しました。



ワークショップ参加者
樋口 優海さん



▲昨年7月・8月に実施した市民ワークショップで作成された、SDGsの取り組みをマッピングした「久喜市SDGsマップ」。



①高木 超氏によるア
プローチ講話では、SDGsを
分かりやすく解説。高木氏
はパネルディスカッション
で、コーディネーターも務
めました。②市民ワーク
ショップ参加者による久喜
市SDGsマップのプレゼン
テーション ③パネルディ
スカッションでは活発な議
論が交わされました。



2



3



1

【特集2】

SDGsシンポジウムを開催しました！

令和3年11月13日(土)に、「久喜市の魅力と未来を考える集い」と題し、久喜市の魅力や今後のまちづくりについて、市民の皆さんと一緒に考えるとともに、SDGsの理解浸透や普及、啓発を図るため、SDGsシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木超氏による、SDGsに関する身近な取り組みをテーマとした講話に始まり、昨年7月・8月に実施した市民ワークショップの参加者の代表6名による「久喜市SDGsマップ」の発表では、市民の皆さんができる取り組みを紹介しました。また、市内小学校におけるSDGsの取り組みとして久喜小学校、栗橋西小学校、栗橋南小学校の3校が発表を行いました。

最後に、市長や有識者、ワークショップ参加者などによるパネルディスカッションで、今後10年先を見据えた久喜市のまちづくりをテーマとして、活発な議論を交わしました。

市では、引き続きSDGsに関する取り組みを一層推進していくとともに、市民の皆さんからのご意見やアイデアを、今後のまちづくりに生かしてまいります。

インタビュー

将来、海外での貧困や環境問題に取り組める職に就きたいと思い、参加しました。解決の為には地域によって異なる文化などを理解する必要がありますと思っています。



ワークショップおよびパネルディスカッション参加者
かわすみ のぶ 旗さん



ワークショップおよびパネルディスカッション参加者
ふくかわ めい の り さん

はじめはSDGsについての意識はあまり無かったのですが、小学生でも取り組んでいるのを見て、私たちもできることをやれたらと思っています。